

一

般 質 問

11人の議員から17件の一般質問

一般質問とは？

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

質問の範囲は、町の行財政全般のほか、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたっています。



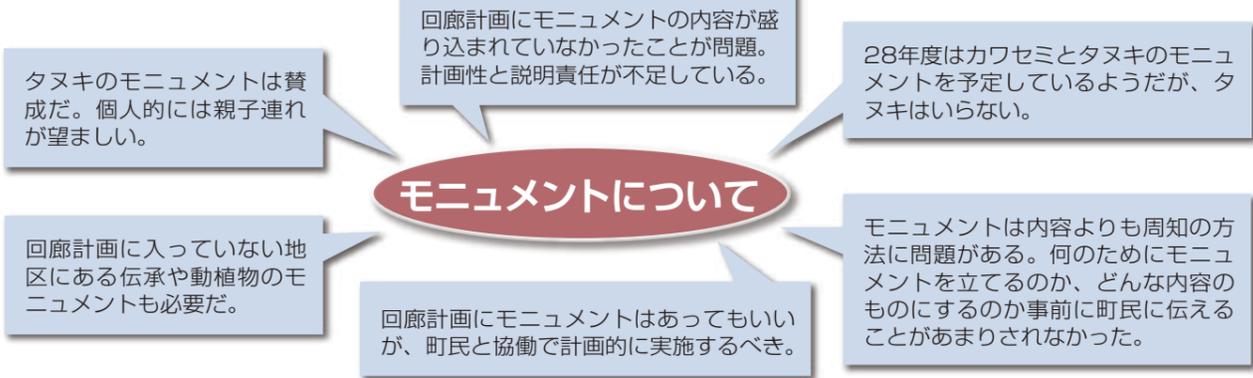
プロジェクターを使っている議員間討議の様子

瑞穂町議会初！ 予算審査に議員間討議を導入

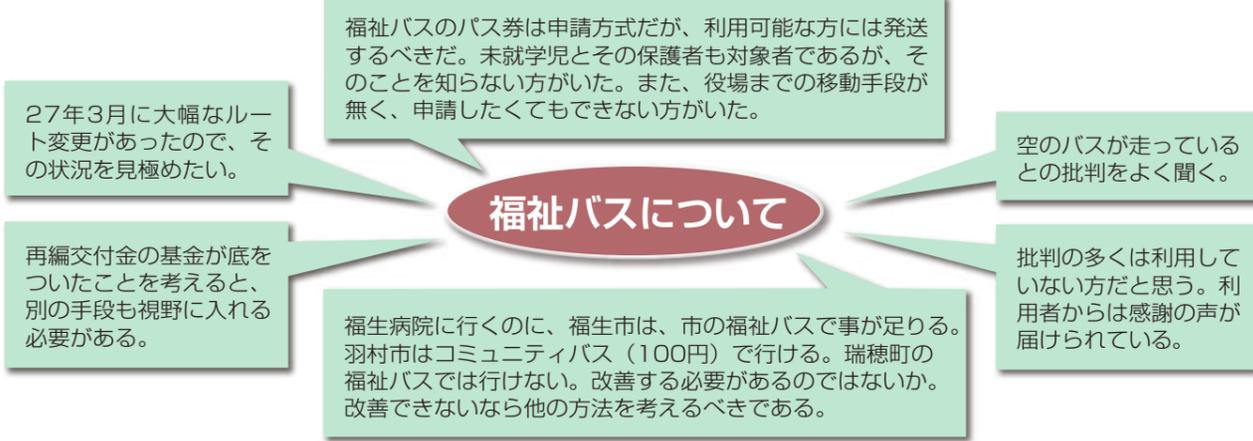
町民の期待を背負って議員同士が論戦

今までの予算特別委員会では、町側への質疑と答弁のやり取りを経た直後に採決を行ってきましました。しかし、町民の皆様から届けられた声をより一層予算に反映させるため、今回の予算審査からは、町側への質疑終了後に、議員同士が更に意見を述べ合うべきと考え、議員間討議を導入することにしました。これは、瑞穂町議会初の試みで、全国的にも先進的な取り組みです。

モニュメントについて



福祉バスについて



その他 討議内容

- ◆町の予算編成の優先順位のつけ方について
- ◆再編交付金の最終年度見据えた国への要請活動の在り方について
- ◆基金運用の運用方法について
- ◆栗原地区土地区画整理事業の継続について
- ◆東京駅伝大会に参加する生徒への補助の充実について
- ◆スカイホールでの子どもフィスティバル、町民文化祭の交通手段の確保について
- ◆住民提案型協働事業について
- ◆子どもフィスティバルの事業内容について
- ◆放課後子ども教室の拡充について

質問 観光の振興策の「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」が着実に進み、拠点となる新郷土資料館やさやま花多来里の郷が整ったと認識している。今後、最大拠点の狭山池上流部の整備には長期間を有すると考える。そこで、石畑・殿ヶ谷地区のルートでは既存道路や残堀川等新規の整備に大きな予算を要しない。地域の住民の理解を得るうえで、目に見える形で示す必要があると考える。合わせて都立公園の拠点との連携・協力の取り組みを問う。



3月19日にリニューアルオープンした花多来里の郷



村上 嘉男 議員（自民新政治家）

回廊計画の現状と今後の取り組みについて

町長 案内サインの設置など各課連携して考えていきたい。観光の振興策として考えていきたい。27年度、都との協力を進めたい。また、狭山池上流部の整備を進める予定だが、公園内の案内看板などに口ゴマークを貼りつけた。今後、都や関係機関・各部署と協議し、利便性を考えてトイレなどの整備を進めていく。

各課連携して考えていきたい